

きらめく功績をたたえて ～大洲市きらめき大賞表彰式～



大洲市きらめき大賞表彰式が1月10日(日)、市役所で行われました。大洲市きらめき大賞とは、大洲市の文化向上発展に関して、特に顕著な業績または成績を収めた個人、団体に贈る賞です。

表彰式で二宮市長は「みなさんの活躍は、平成30年7月豪雨災害からの復旧、復興に向けて歩みを進める市民に、元氣と感動、そして力強い希望を与えていただきました。伝統文化を受け継ぐなかで、新しい文化を創造し、チャレンジ



されることを期待しています」と受賞者への祝福と今後の期待を述べました。

受賞者の大盛結人^{ゆうと}さんは「きらめき大賞をいただき大変光榮です。コロナで厳しい状況ですが、夢に向かって頑張りたいです」と今後の抱負を述べました。

平成19年度から始まった大洲市きらめき大賞は、今回を含めて延べ69個人22団体に贈られました。



大洲市立新谷中学校

学校大賞は学校全体での短歌の取り組みや、作品の応募率および、応募作品の入選率など、総合的に最も優れた学校に贈られる賞です。新谷中学校では平成30年から全校生徒が国語の授業で、短歌・俳句を毎年創作し、推敲している取り組みや、大盛さんの特選を含め、4首が入選となったことなどが評価され、今回の受賞となりました。

第21回 NHK 全国短歌大会
ジュニアの部
「学校大賞」

鏡見て自分を見つめる十五歳
心と語る朝の数秒

大盛さんの作品



大盛 結人^{ゆうと}さん
(八幡浜高等学校1年)
※大会時：新谷中学校3年

第21回 NHK 全国短歌大会
ジュニアの部
「特選」

第21回大会ジュニア部門では1万1,044首の応募作品があり、その中から一次審査を経て、本選に出場し特選に選出されました。

受賞者

活力ある地域づくりに貢献 ～大洲市地域づくり表彰式～



大洲市地域づくり表彰式が1月10日(日)、市役所で行われました。大洲市地域づくり表彰とは、長年にわたり豊かで住みよい地域づくりなどに貢献された市民または団体に対して、その功績をたたえ表彰するものです。平成24年度に創設され、今年度を含め16個人、32団体を表彰しています。

表彰式で二宮市長は「長年にわたるみなさんの献身的な努力に敬意と感謝を申し上げます。みなさ

んの素晴らしい精神は、本市の地域活力を盛り立てる大きな原動力になります。今後とも豊かな地域づくりにお力添えをお願いします」とあいさつしました。

受賞者の大洲市VYS連絡協議会の長井二三^{ふたみ}会長は「現在に至るまで多くの先輩たちから継続してきた活動に誇りを持ち、この賞に恥じぬよう、これからも地域の役に立ちたいです」と今後の抱負を述べました。



大成婦人会
(活動分野：地域づくり活動)

会長 ^{こうち}河内ハルエさん (左)
会 計 ^{いしこ}石河 ^{きょうこ}京子さん (右)



大洲市VYS連絡協議会
(活動分野：福祉活動)

会長 ^{ふたみ}長井二三さん (左)
副会長 ^{けいし}東 敬士さん (右)

受賞団体

第20回「レンガのある風景」はがきコンクール受賞者

第20回「レンガのある風景」はがきコンクールでは、大洲市内外より多数の作品が寄せられました。入賞したみなさんは次のとおりです。(敬称略)

部 門 ・ 賞 名		氏 名		部 門 ・ 賞 名	氏 名
20回記念大賞		重松 そら	中 学 生	最優秀賞	古河佳奈実
大洲市長賞		松本 ^{すずか} 鈴加		優秀賞 (大洲市立脇川風の博物館・歌麿館賞)	池田 ^{なぎ} 凪
山田きよ賞		大久保勇那 ^{ゆうな}		優秀賞 (大洲ユネスコ協会賞)	福岡 ^{あおい} 蒼唯
低小 学学 年生	最優秀賞	梅木菜々子 ^{ななこ}	高・大・ 一 般	最優秀賞	山本 ^{ゆみ} 優実
	優秀賞 (大洲郵便局賞)	村田虎太郎 ^{こたろう}		優秀賞 (愛媛県建築士会大洲支部賞)	小川 ^{ようこ} 洋子
	優秀賞 (大洲ライオンズクラブ賞)	長岡 ^{こうせい} 煌清		優秀賞 (大洲ロータリークラブ賞)	川村 ^{のりこ} 紀子
高小 学学 年生	最優秀賞	眞田 ^{そら} 空	写 真	最優秀賞	宮地 ^{まさひろ} 政弘
	優秀賞 (国際ソロプチミスト大洲賞)	三好 ^{あおの} 碧乃		優秀賞 ((一社) キタ・マネジメント賞)	武内 ^{いさお} 英雄
	優秀賞 (大洲喜多倫理法人会賞)	平田 ^{ゆいこ} 優結子		優秀賞 (大洲史談会賞)	濱本 ^{ひでお} 秀雄

入賞作品紹介 (一部抜粋)



【20回記念大賞】
「昼下がりの赤レンガ館」



【大洲市長賞】
「おおず赤煉瓦館」



【山田きよ賞】
「ぼつんと光のあるレンガの家」



【小学生低学年の部最優秀賞】
「赤レンガかん」



【小学生高学年の部最優秀賞】
「赤レンガ館」



【中学生の部最優秀賞】
「お昼の赤れんが館」



【高・大・一般の部最優秀賞】
「少し先の光」



【写真の部最優秀賞】
「スポットライトは陽の光」



トランシーバで除幕の合図をする宮崎さん

鹿野川ダム湖の愛称「おしどり湖」看板除幕式が1月6日(水)、鹿野川荘で行われました。

令和元年度に募集した「鹿野川ダム湖愛称」において、応募数495点の中から選ばれた愛称「おしどり湖」の看板が設置されました。看板はより多くの人に親しみをもってもらうために設置され、看板の「湖」の下部には命名者で宮崎耕太(肱川中学校2年)さんの名前が刻まれています。

「おしどり湖」看板除幕式



宮崎さんは通学中、鹿野川ダムの湖に飛来したオシドリの群れを見て、『おしどり湖』を思いつき、親しみやすく、優しい名前になると思います。あえて平仮名にされたようです。「これからオシドリをはじめ、さまざまな生き物が集まる自然豊かな湖になってほしいです」と話していました。

野鳥

トラフズク(虎斑木菟)
フクロウ目 フクロウ科
全長36cm 翼開長100cm

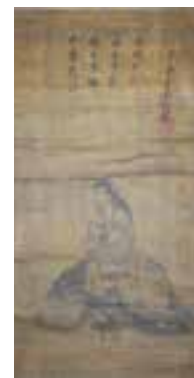


北日本で繁殖して越冬しにやってきて、大きさはハト位のフクロウの仲間です。肱川水系は、最適なすみ家なのですが夜行性のため出会う事は稀です。また、フクロウの仲間では珍しく少数で集まってねぐらを作ります。森には守り神のフクロウが、夏の林はアオバズク、そして冬の草原にはコミズク、河川敷にはトラフズクが生活していて、同じ仲間でもすみ分けをすることで獲物の捕り合いに対応しています。人間社会は、経済を優先してしまうと、見境が付かなくなり、トラブルが勃発してしまいます。生き物のすべてが、隙間産業である自然界に学ぶことで他と競合しなくなり、みんなが何とか生き伸びていけるような気がします。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

文化財

けんぽんぼくが きしもんじゅず 1幅
愛媛県指定有形文化財(絵画)
大洲市所有



この絵画は、縦62cm、横35cmの絹地に描かれた水墨画です。地に伏した獅子の上に足を組み、膝を手で抱えて座る文殊菩薩が描かれています。種々の華麗な装飾具を身に着ける姿が多い文殊菩薩ですが、垂髪に法衣といった簡略的な姿は、鎌倉時代以降の禅宗の寺院で崇拝され、盛んに描かれた姿になります。

作画年代や作者は不明ですが、絵の上部には室町時代の禅僧で、愛媛県にもゆかりのある月庵宗光(1326~1389)の賛文(作品に書き加えられた賛辞)が添えられていて、南北朝初期の作品と考えられています。

高僧の月庵が賛を記している点から見て、名のある画僧によるものと思われ、大変貴重な作品であることから、愛媛県の文化財に指定されています。

(昭和40年4月2日指定)

シリーズ

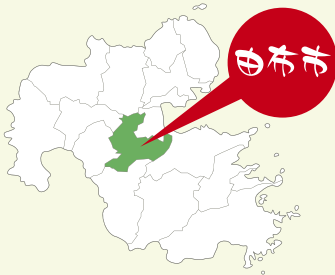
豊平交流

愛媛・大分両県の自治体同士でお互いの地域の魅力を紹介し合う取り組みを行っています。豊予海峡を挟んだ海の向こうに目を向けてみましょう。

由布市の良いところなとこ

概要

由布市は、大分県のほぼ中央に位置しています。そのため、大分県内各地から気軽に立ち寄ることもできます。また、温泉湧出量全国3位、源泉数全国2位を誇る「由布院温泉」や、風情ある石畳が象徴的な「湯平温泉」、酸性度全国2位で皮膚病に特効のある薬湯「塚原温泉」など、豊富な温泉に恵まれており、市内各所で入浴を楽しむことができます。



郷土料理・特産品

大分県の郷土料理を代表するひとつである「やせうま」。小麦粉で作った平たい麺をゆでたものにきな粉と砂糖をまぶした食べ物で、県内で幅広く親しまれています。

平安時代、現在の由布市に藤原鶴清磨という若君が住んでいました。この藤原鶴清磨が乳母の八瀬に、「八瀬、うま（食べ物の幼児語）。うまくれ。」とせがみ、その度に小麦粉をこねてきな粉をまぶしたものを作っていたことから「やせうま」と呼ばれるようになったそうです。

また、豊かな甘みと果汁たっぷりの梨もおすすめです。8月から11月の梨シーズンになると、国道210号線沿いには梨農園の直売所が並び、その日採れたての新鮮な梨を購入できます。市内では、梨パイや干し梨、梨ソフトクリームなどの加工品も多く販売されています。



▲やせうま



▲梨

温泉



スカーボロ



庄内神楽



辻馬車



由布川峡谷



湯の坪街道



金鱗湖



名水の滝

